

e-ビーフNEWS 北の牧場から

July 2023

十勝の初夏の香り

25℃の夏日が続き、30℃超えも。それでも朝方は10℃近くに下がり寒暖差が一段と厳しいです。朝の3時過ぎると明るくなり夜の7時過ぎまで日が残るので仕事が高い。十勝はそこらじゅうで花盛りなので、いろんな香りが充満しています。それに合わせてハナバチなどの虫たちが飛び交います。

畑は一遍して緑に覆われ、畝上に出た豆の若房が線上に並んで縞模様を作っています。小麦はたわわに穂をつけ、黄色に変色してきました。刈り取りが早そうです。今年は、豊作を予感させます。

牧場のデントコーンも一斉に伸び気温が高いので日に日に大きくなってきています。有機の畑では、相変わらずシロザ(雑草)と背伸び競争をしています。今年は、牧草地は更新の時。5haを起こしドローンで緑肥用ひまわりを播種。秋には黄色い大輪が一斉に顔を出します。繁殖牧場では、お産がピーク。昼夜を問わず忙しい日が続いています。



活動のお知らせ

- 6/9(金) **第24回定期総会(特定非営利活動法人および肉牛飼養技術研修会が行われました)**
13:00~16:30 新得町 北海道立総合研究機構 畜産試験場 1階 講堂 参加者20名 WEB参加5名
- 1) 第24回定期総会
(1) 2022年度事業報告・決算報告 了承されました
(2) 2023年度事業計画(案)・予算(案) 了承されました
(3) 役員改選 宮北牧場 宮北輝代表が理事長に選出されました 事務局体制が設定されました 事務局長 青山商店 青山次郎専務
- 2) 肉牛飼養技術研修会
・宮北牧場 アンガス牛枝肉600kg生産の挑戦 ・引き続き e-びーふ牧場(北の牧場舎)の飼養・肉質分析
日本獣医生命科学大 動物栄養学教室 柴田昌宏教授
- 9/21(木) **食肉の生産から食卓までを繋ぐ"日本産肉研究会第32回学術集会 シンポジウムテーマ「有機畜産の現状・普及・課題」**
13:00~17:00 帯広畜産大学およびオンライン(ZOOM) 第VI会場(5番講義室)
参加費:500円(現地参加者の非会員のみ:講演要旨代、日本畜産学会参加者は無料)、オンライン無料
《プログラム》
○13:05-13:45 「有機JAS認証を取得するためには」(仮) 武内 智氏 JASCERT理事
○13:45-14:15 「日本唯一の有機JAS認証コンプライート牧場、鈴木牧場!その未来は!?!」(仮) 鈴木 敏文氏(鈴木牧場 広尾町)
○14:15-14:45 「有機畜産物の流通、その課題と今後」(仮) 岩崎 方保氏(マルハニチロ株式会社) 課長代理
○15:00-15:30 「私たちの求める牛肉とは」(仮) 御法川 泰子氏(一般社団法人よつ葉会) 代表理事
○15:30-15:45 産肉研学生会員企画「私の考える持続可能な畜産とは〜八雲牧場で3年間、生産から消費までを体験して〜」
(仮) 藤本玲奈会員(北里大学獣医学部 修士課程)
○16:00-17:00 総合討論 産肉研HP (<https://nihon-sanniku3.webnode.jp/>)

NEWSほか読み

- 観光庁 4月集計外国人宿泊者1000万超え コロナ以来6/1:経済との連携
- 食品値上げ3500品目に急増中ながらベース服感6/1:影響がジワリ
- 政府 スマート農業推進法 新法検討6/2:本気度
- イオン 28年度に農場400haを有機化に6/2:PR
- 家畜市場5月相場 ホル・交雑種に回復傾向6/2:枝相場との連動
- イオントップパリュ 25年有機食品PB 22年の3倍600億円売上計画6/3:PR
- 全国オーガニック給食協議会設立 自治体・JAほか6/3:期待
- 東北大 子牛下痢改善に健康牛のふんを移植6/5:バイオの世界
- 黒毛種牛「福之姫」急死10才全国トップの精液出荷6/6:お疲れさまでした
- 広尾町酪農家 ドローン使い牛追い 労働時間8割減6/6:活用幅拡大
- 23年度米 転作大豆や輸出米拡大6/7:多様性の拡大
- 宮崎県畜試 焼酎粕で乳酸発酵飼料で機能性飼料開発6/7:
- 和牛子牛相場下落で60万円割れも6/8:しばらく続く
- サツマイモ北上 東北北海道でも 温暖化や需要増で拡大6/13:スウィートポテト
- 牛マルキン発動が減少 素牛相場下落や需要増で6/13:実態は
- クボタ 業界初の無人コンバイン来年1月発表6/15:ついに
- 有機農業を教えるアグリガーデンズスクール(福岡)が拡大6/15:
- 政府来年度予算 骨太案で食糧安保/農業経営の安定化6/17:実効案は
- 農機具メーカー相次ぐ値上げトラクターなど5%アップ6/19:
- パルシステム 23年度予約米 2%伸びの1万7千t 有機米伸長6/20:トレンディ
- 江別酪農家 コーヒー粕を使い牛敷料に 6/21:
- 22年輸出リンゴが最高の3万4千t 台湾で家庭用定着6/22:
- 配合飼料価格7-9月2000円下げ穀物相場の下落6/23:一時か
- 米国 培養鶏肉の販売認可 シンガポールに次ぎ2番目6/23:
- みどり戦略を受け各地で「栽培歴」の見直し6/26:拡がり期待
- ロジカ(熊本) GPSを使った放牧牛監視システムを開始6/26:
- 飼料米助成で24年度から多収専用種に限定 種子確保に難6/26:
- 農水省 Jクレジットで中干し水稻の認証団体を承認6/29:
- 農水省 AWF指針の最終案を提示6/29:
- 福岡県 し尿原料の施設用濃縮液肥をイチゴで実証実験6/30:
- 世銀 世界で環境に悪の補助金1000兆円 見直しを6/30:

ホルス

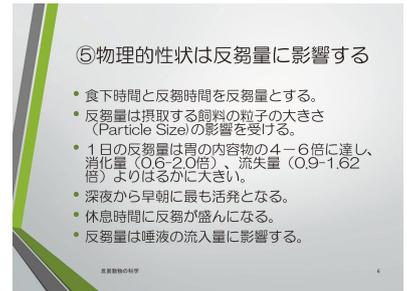
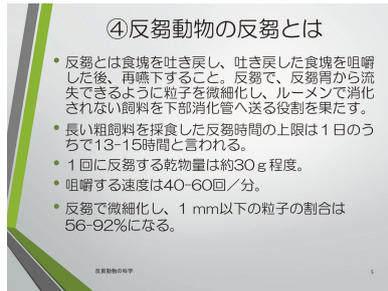
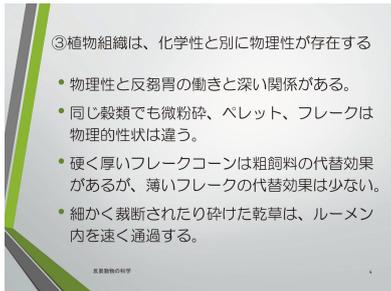
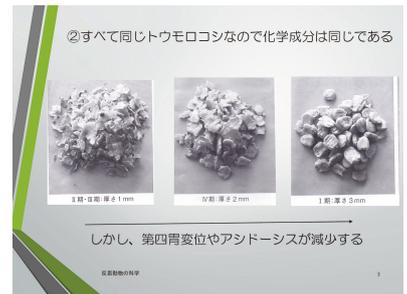
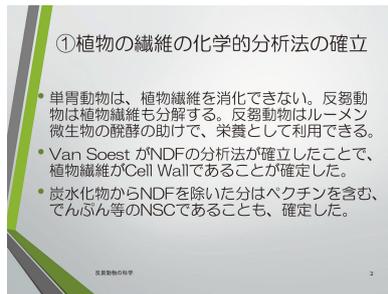
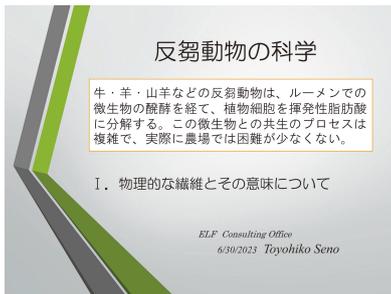
市況は停滞しており慢性的な不足状況に変化なしも枝相場は低迷基調。3桁価格での上場に留まっており、直近はさらに弱いか。パーツについては冒頭のとおり全般引合弱く販売状況に比例して鈍い。上位部位筆頭に鈍く、モモ・切落しはそれなりに引合も切落しは産地工場が稼働効率で拒否感強い。梅雨時期でこれから夏本番を控え販売状況は相当悪い。

経産牛

経産牛相場は上げ基調で推移。上々頭数は減頭傾向予測もそれなりに頭数上場の模様。今後の頭数傾向と相場状況に注視。パーツは赤身バラ系共に不足も相場上昇からパーツ価格も上げ基調。市中在庫薄く新規取り扱いが難しい状況。挽き材の引合はGWをピークに鈍化傾向、市況と合挽用の豚肉も上昇しており量販も特売が打てず。

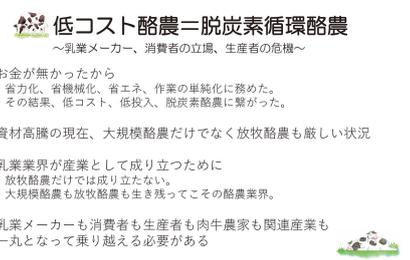
左先生の畜産学研究NEWS

今月から左久先生と瀬野豊彦コンサルの交互掲載になります
今月から瀬野さんの「反芻動物の科学1」を隔月で4回にわたり掲載いたします



資源循環型肉牛生産シンポジウム 2022

話題提供「脱酸素循環牧場・地域を目指す」3回シリーズ③
十勝清水町 放牧酪農家 出田牧場 出田基子氏



地球温暖化ガスを減らすために

～私たちに出来ること、やらなければならないこと～

- 農林水産分野における温室効果ガスの排出の問題
・家畜関連が3割？牛のゲップが原因？
- 本当に削減しなければならないものは？
- 未来志向の視点で果たすべき責務



転載・再利用は固くお断りします